

資料配布の場所

1. 国土交通記者会
2. 国土交通省建設専門紙記者会
3. 国土交通省交通運輸記者会
4. 筑波研究学園都市記者会

平成28年6月20日同時配布

平成28年6月20日

国土交通省

国土技術政策総合研究所

都市を5mメッシュに分割して気温や体感温度を計算した研究論文に国際的評価 ～ヒートアイランド対策国際会議で Best Paper Award を受賞～

5月29日から6月1日にシンガポールで開催された「第4回ヒートアイランド対策国際会議」において、都市を5mメッシュに分割して気温や体感温度を計算した研究論文が国際的に高く評価され、国総研足永靖信住宅情報システム研究官が表彰されましたので、お知らせいたします。

「第4回ヒートアイランド対策国際会議」は、夏季の暑熱・空気環境を緩和するための科学、工学、施策を協議するため、2～4年に1度開催され、ヒートアイランド対策としては最も権威がある国際会議です。今回は、5月29日から6月1日にシンガポールで開催され、26の参加国から205名の参加者と215の論文が寄せられました。その中において国総研足永靖信住宅情報システム研究官が発表した「Simulation Software for Evaluating Thermal Environment Measures in Cities with Simple Operation(簡便な操作による熱環境対策評価シミュレーションソフトウェア)」が Best Paper Award(最優秀論文賞)を受賞しました。

本論文の内容は、500m四方の都市を5mメッシュで分割し、建物や土地利用の配置や表面の仕上げなどをパソコン入力することにより、気温や体感温度への対策効果を検証したものです。使用したソフトウェアは、国総研が国土交通省都市局とともに開発したものであり、平成26年8月28日より国総研のホームページで「都市の熱環境対策評価ツール」として無償公開しています。その大きな特徴は、表計算ソフト(エクセル)の上で作動し、簡便な操作でデータ入力や計算を実施することができる点にあります。既にいくつかの自治体による活用事例があり、低炭素まちづくりの実践に役立てられています。本受賞を契機に、近年、急速な都市化、暑熱化が進行しているアジア地域におけるヒートアイランド対策においても今後活用を図り、国際貢献したいと考えています。

【受賞概要】

会議名称：第4回ヒートアイランド対策国際会議

場所：シンガポール国立大学(シンガポール)

受賞日：平成28年6月1日

賞名：Best Paper Award

業績名：Simulation Software for Evaluating Thermal Environment Measures in Cities with Simple Operation(簡便な操作による熱環境対策評価シミュレーションソフトウェア)

受賞者：国土技術政策総合研究所 住宅研究部住宅情報システム研究官 足永靖信

ホームページはこちらです <http://www.nilim.go.jp/lab/icg/index.htm>

(問い合わせ先)

国土交通省国土技術政策総合研究所

住宅研究部 建築環境研究室 主任研究官 赤嶺 嘉彦

TEL：029-864-4420、FAX：029-864-6771、E-mail：akamine-y92ta@nilim.go.jp